



令和4年度 3月号 校長 饗場 宏

上の写真は、3年「昔の生活体験」、ドローンで撮影した東小、全校「感謝の気持ちを伝える会」の様子です。

子どもたちが大人になった時、この地域の良さを実感できるために 地域とともにある東小学校



本年度の結びの日も間近に迫り、もうすぐ6年生は中学校に入学、在校生はそれぞれの学年へ進級します。1年間の児童の成長はめざましく、身体だけでなく社会性や行動力、体力や学力も着実に伸長しています。しかし、身近な人ほど、その成長に気づかないでいるものです。成長を実感する機会といえば、以前の写真や作品などと今の様子と比べた時などでしょう。

児童もまた同じで、日頃地域や保護者の皆さまの「おかげさま」に支えられて生活できているということに気づくのは難しいものです。おそらく大人になった時、その時の生活等と比べて、「子どもの時に見守ってくださった方がいた」「こんな素敵で育ったんだ」と気づき、ようやく「おかげさま」の存在を実感するのでしょう。

そんな将来に向けて、思い出の種(たね)となる「おかげさま」を私たち大人がたくさんこしらえてあげることは大切なことだと信じます。その思いをタイトルの「地域とともにある学校」という言葉に込めてきました。全号、この言葉を掲げ、この思いが少しでも叶うよう本校の様子をお伝えしてきました。

本号で本年度の最終号となりますが、拙文をお詫び申し上げ、お読みいただきましたこと感謝申し上げます。教職員も異動の時期を迎えます。地域や保護者の皆さまからいただいた暖かいご理解と心強いご支援に教職員一同、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

エピソード

6年生は卒業にむけて、5年生は来年度の児童会活動開始にむけて、高学年として立派に取り組んでいます。低学年時代は自分のこと、中学年では周りの友達のこと、高学年では全校みんなのことを考えるという成長のステップ。今、その成果が見事に結実しています。

第2回学校運営協議会設置推進委員会開催

3月7日、来年度から甲府市立の全小中学校に設置される「学校運営協議会」(コミュニティ・スクール)の準備にむけた委員会が開催されました。準備のための委員会ではありますが、すでに成果を挙げている取組(読み聞かせ活動やお話会の広がり、見守り活動の広がり、連合自治会のご協力の成果、教育相談面の充実等)も多くあり、その状況等が確認されました。

3月3日のお便りでお伝えしたとおり、今月より「新型コロナウイルス感染症学校対応マニュアル(甲府市)」で定める地域感染レベルが変更となりました。従来の「レベル2」から「レベル1」となり、教育活動の制限緩和・感染対策の省力化等が可能となりました。今後も、マスク着用に係わる指針をはじめ、様々な変更が示されることになるとは思いますが、引き続き保護者の皆さまと共有すべき情報は、各種お便り(スクリーンアプリによる配信も含む)や安心メール(速報の場合)でお伝えしていきます。

なお、季節性インフルエンザに感染する児童が増えています。感染予防対策は、基本的に新型コロナへの対策と同じです。手洗い・うがい・換気等に留意し、適切な場面でのマスクの着用を呼びかけてまいります。

児童の笑顔と未来のため、地域やご家庭の皆さまとともに、児童の健やかな成長を期す「地域とともにある学校」を創り上げていきたいと思っております。本校教育活動への変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

連絡 入学式につきまして、甲府市教育委員会より、感染予防を十分に行った上で、短時間で実施するよう指示がありました。参加者は新入生、保護者(2名まで)、教職員とさせていただきます。ご承知おきください。